

2008年3月期決算説明会

2008年5月

新コスモス電機株式会社

(証券コード:6824 ジャスダック証券取引所)

目次

- . 会社概要・事業内容
- . 業績と経営指標
- . 2008年3月期決算概況
- . 2009年3月期業績見通し
- . 中期経営計画について

・会社概要・事業内容

会社概要

- 社名 新コスモス電機株式会社
- 本社 大阪市淀川区三津屋中2丁目5番4号
- 代表者 代表取締役社長 重盛 徹志
- 設立 1960年6月
- 事業内容
 - ・各種ガスセンサの研究開発及び製造
 - ・ガス警報器・検知器の製造及び販売、メンテナンス
- 資本金 1,460百万円(2008年/3月期末)
- 連結子会社 3社
- 従業員数 395名(単体)、500名(連結)
(2008年/3月期末)
- 主な販売先 大阪ガス、岩谷産業、東京ガス
東邦ガス、東京電力、大陽日酸等



沿革

2008年3月期売上高：175億円

-
- 1960年 設立
 - 1964年 世界初、家庭用可燃性ガス警報器を発売
 - 1967年 世界初、自動吸引式携帯用ガス検知器を発売
 - 1969年 半導体式ガスセンサを応用した家庭用LPガス警報器生産開始
 - 1970年 工業用定置式ガス警報器発売
 - 1973年 コスモス研究所設立
 - 1980年 家庭用都市ガス警報器販売開始
 - 1992年 新コスモス電機メンテナンス株式会社設立
コスモスサービス株式会社設立
 - 1993年 イスズ電機株式会社を子会社化
 - 1996年 株式を店頭(現JASDAQ)に上場
ISO 9001認証取得
 - 1997年 上海新宇宙煤気監控設備有限公司設立
 - 2000年 住宅用火災・ガス漏れ複合型警報器発売
ISO 14001認証取得
 - 2004年 煙感知式住宅用火災警報器を能美防災株式会社と共同開発
 - 2007年 新考思莫施電子(上海)有限公司設立

ネットワーク

本社

支社・営業所(9カ所)

出張所(6カ所)

海外拠点(3カ所)

工場(3カ所)



当社の特徴



ガスセンサのラインナップ

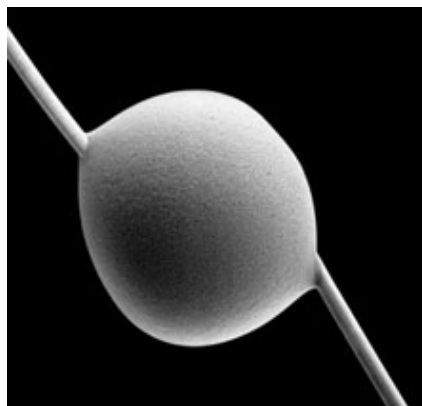
当社の特徴

ガス警報器の専門メーカー

世界で初めて家庭用ガス警報器を開発
家庭用ガス警報器で業界ナンバーワンのシェア
高感度半導体式センサを用いた工業用ガス警報器の開発
高度なセンサ技術力で、家庭用から工業用までラインナップ

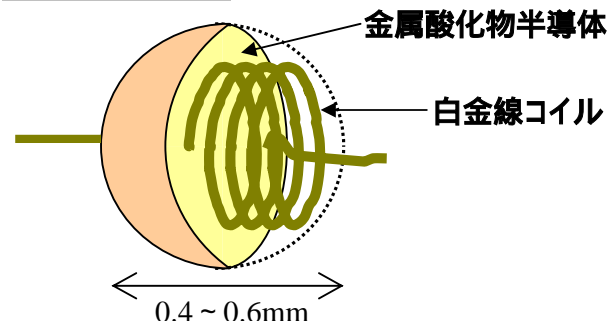
優れた技術開発力

ガスセンサの研究開発を行う「コスモス研究所」
国内450件以上、国外60件以上の知的財産権を獲得



熱線型半導体式センサ拡大写真

検知部構造



海外戦略

中国に合弁会社および現地法人を設立

品質

ISO 9001
トレーサビリティシステム
長期特性試験

環境

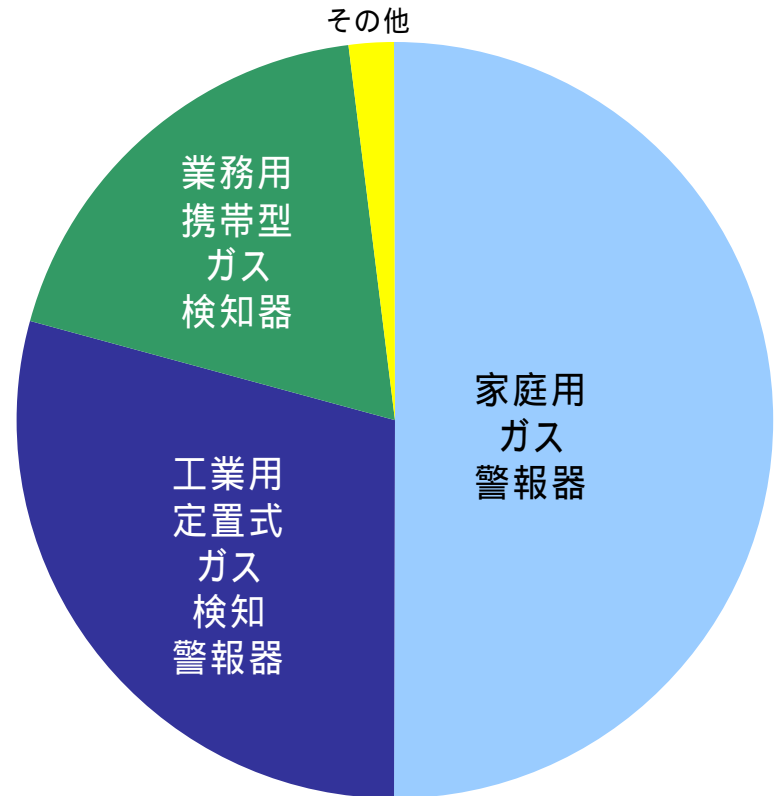
ISO 14001

健全経営

設立4期以降45年にわたり黒字、実質無借金経営

商品別売上高構成

- 家庭用ガス警報器 約50%
- 工業用定置式ガス検知警報器 約30%
- 業務用携帯型ガス検知器 約17%
- その他 約3%



家庭用ガス警報器

市場

国内市場：約200億円と推測

家庭用ガス警報器普及率 都市ガス用：約40% LPガス用：約80%

当社シェア

約40%（都市ガス用約60%、LPガス用約30%）

特徴

- 世界で初めて家庭用ガス警報器を開発
- 世界初音声合成式ガス警報器の開発、国内初のLPガス用不完全燃焼警報器の開発、ガス警報器として初めてのエコマーク認定商品の開発など、新機能開発に注力
- 2004年より住宅用火災警報器市場に参入
- 都市ガス事業者・LPガス事業者を通じて販売

家庭用ガス警報器



都市ガス警報器



LPガス警報器



住宅用火災警報器

工業用定置式ガス検知警報器

市場

国内市場: 約200億円と推測

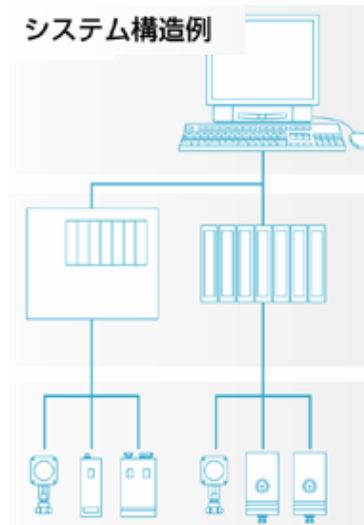
当社シェア

約30%

当社の特徴

- 高感度半導体式センサを工業用ガス検知警報器に初めて採用
- グラフィック機能を搭載した総合監視システムを開発
- センサユニット交換方式でメンテナンスコスト低減を追及
- エンジニアリング会社、ガスディーラー等を通じて販売

システム構造例



工業用定置式ガス検知警報器

業務用携帯型ガス検知器

市場

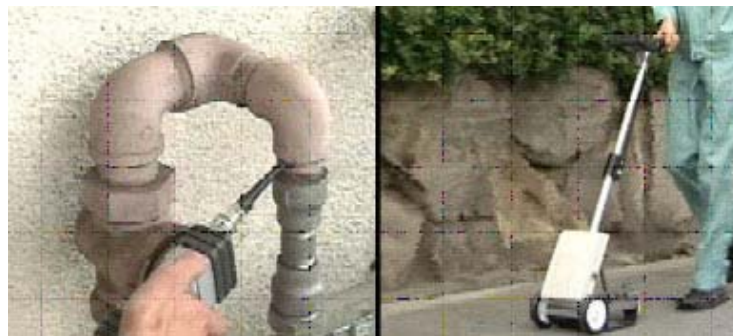
国内市場:約100億円と推測

当社シェア

約30%

当社の特徴

- 都市ガス事業者と、ガス漏れ探知器、CO測定器などを共同開発
- 3R(リサイクル・リユース・リデュース)を追求する商品開発
- 小型・軽量化、小電力化の追求
- 代理店を通じて販売



携帯型ガス検知器

その他

■ ニオイセンサ

「ニオイを数値化する」という新しい発想をもとに幅広い分野に展開



ニオイセンサ

■ 空気質測定

室内の有害化学物質や空気の汚れを検知



換気扇コントローラ

■ 電気品火災予知

ニオイセンサを応用して、電気品の異常発熱を早期に発見



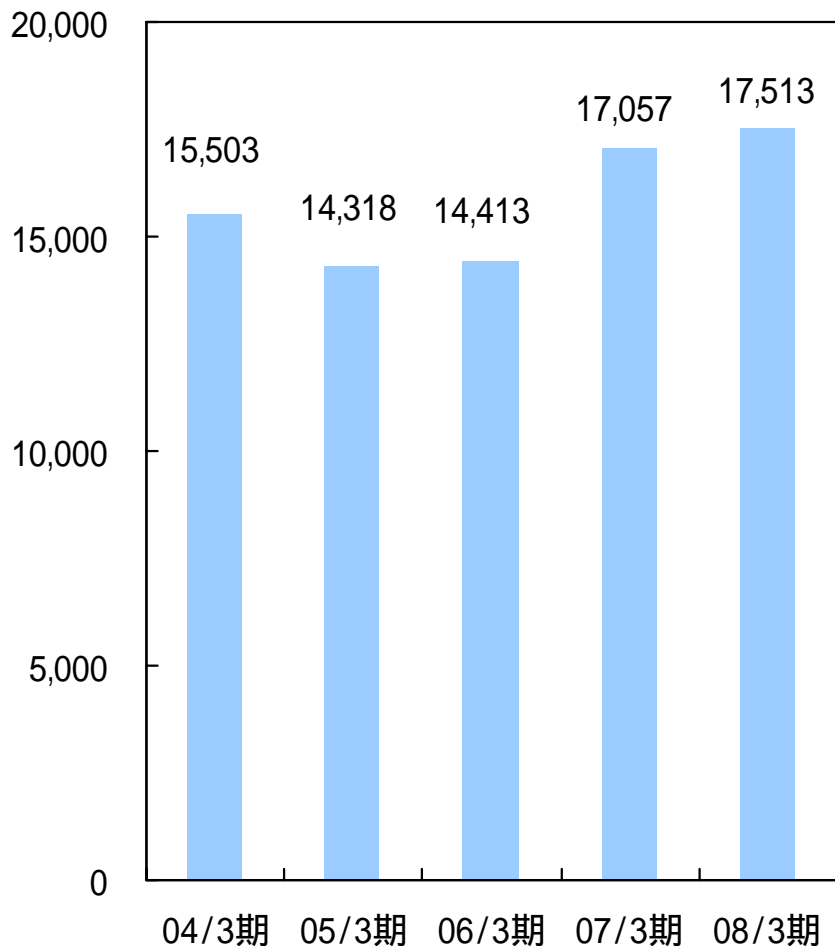
CAN熱くん

.業績と経営指標

売上高・利益の推移(連結)

(百万円)

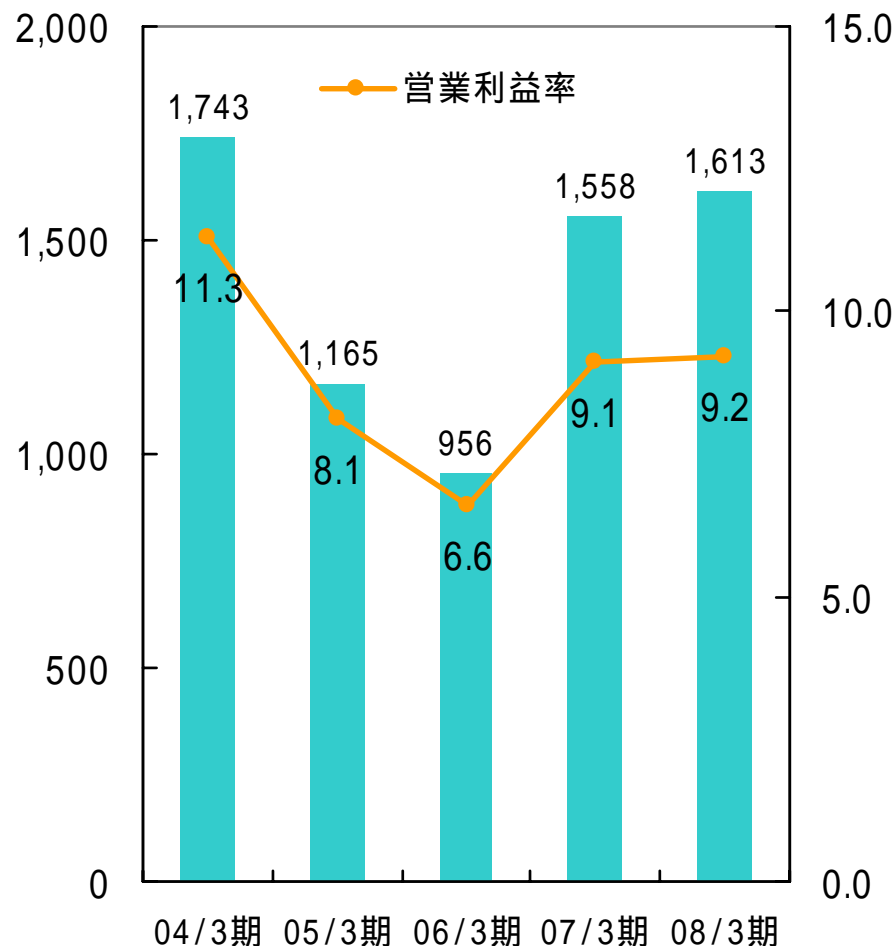
売上高



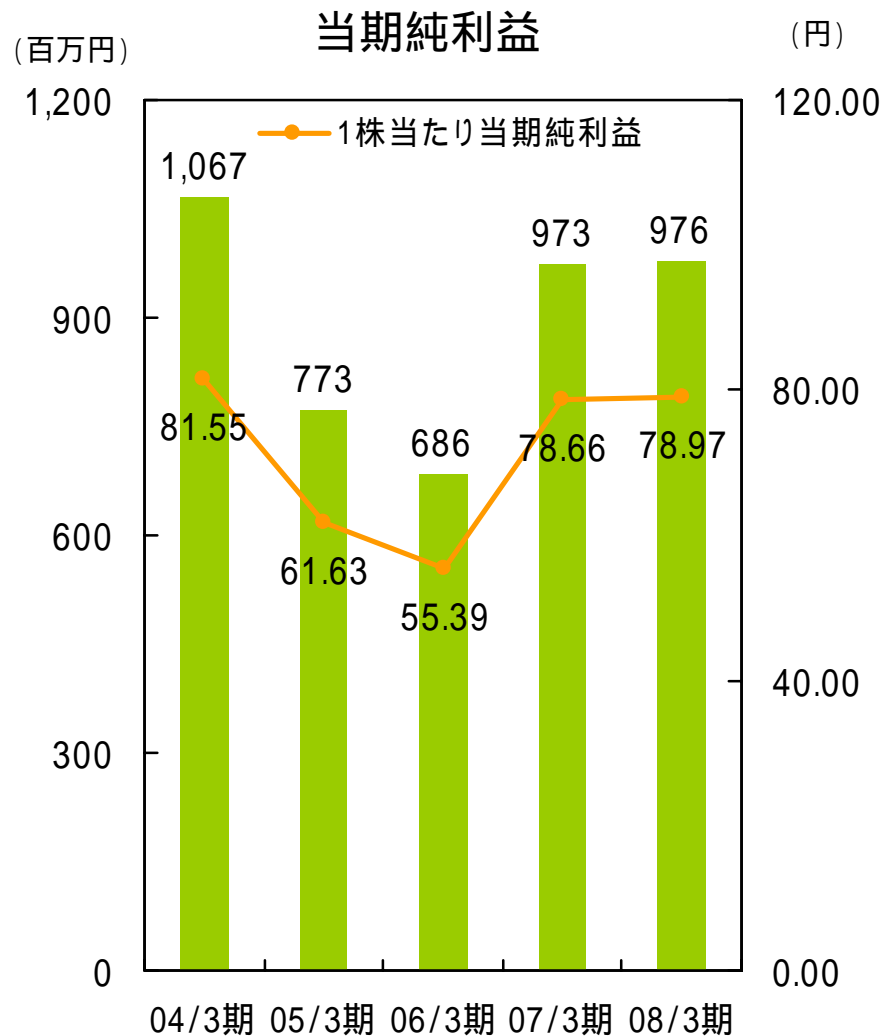
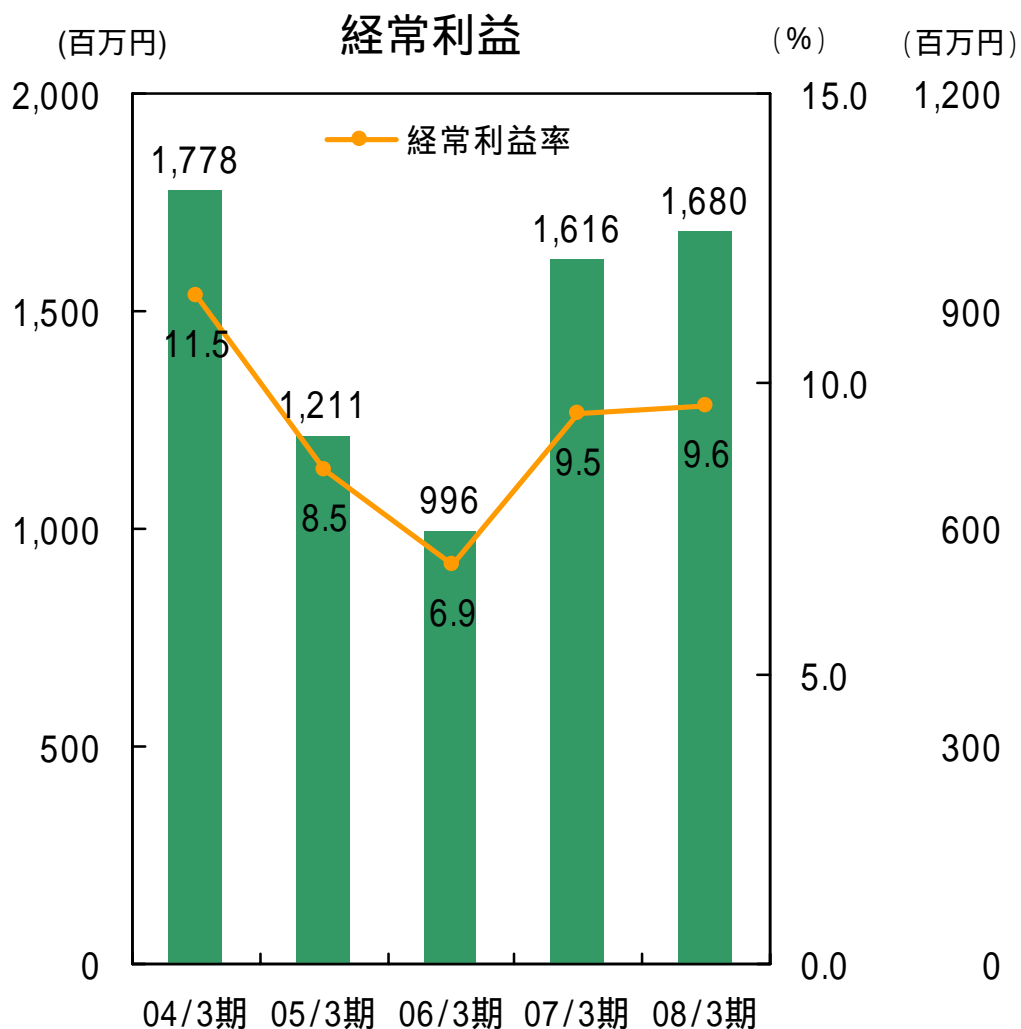
(百万円)

営業利益

(%)



売上高・利益の推移(連結)



売上高・利益の推移(連結)

主な変動要因

(05/3期)

家庭用都市ガス警報器の更新需要の端境期および価格競争激化による販売価格の低下等により減収減益

(06/3期)

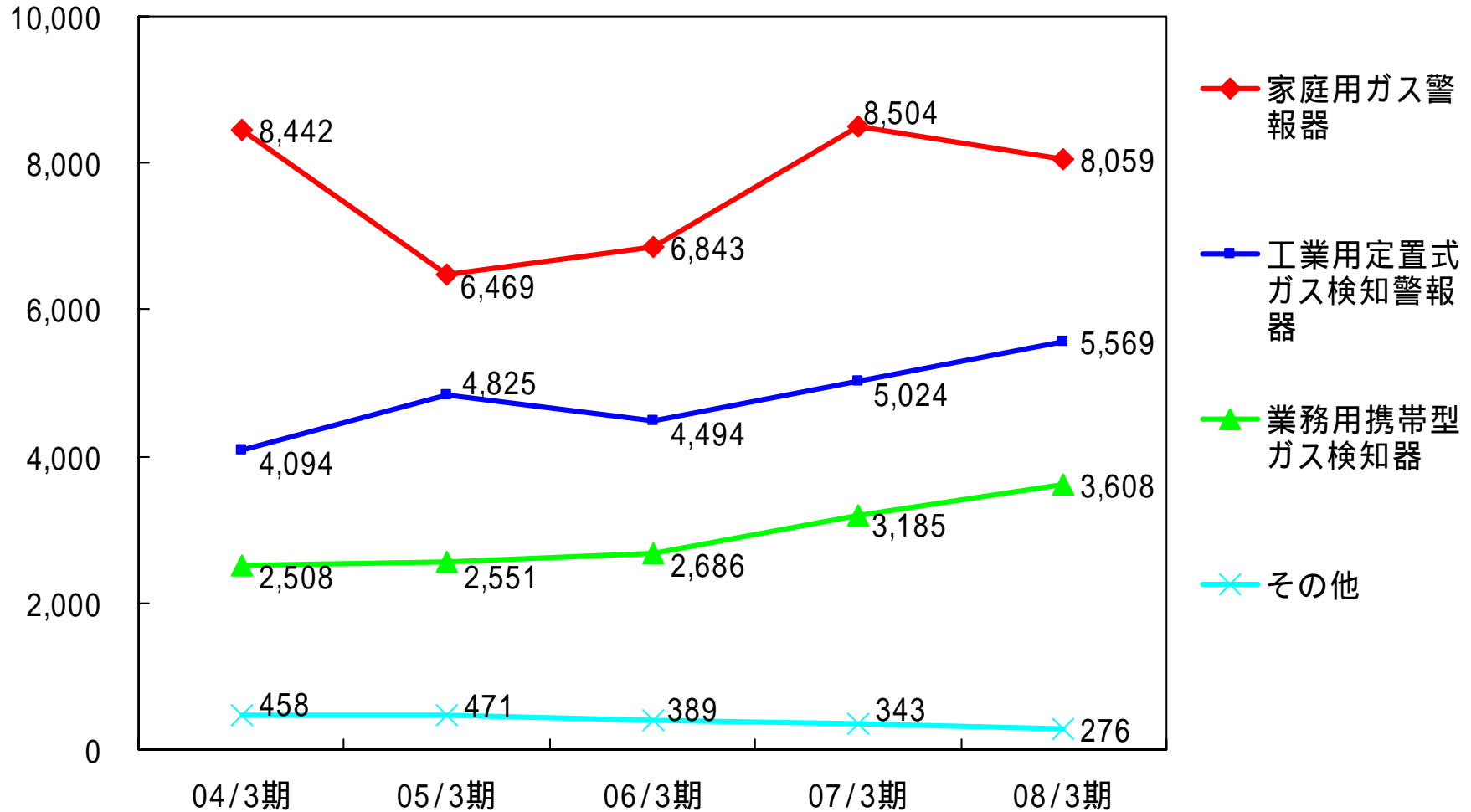
家庭用都市ガス警報器の更新需要の端境期、価格競争激化による販売価格の低下および試験研究費の増加等により減益

(07/3期)

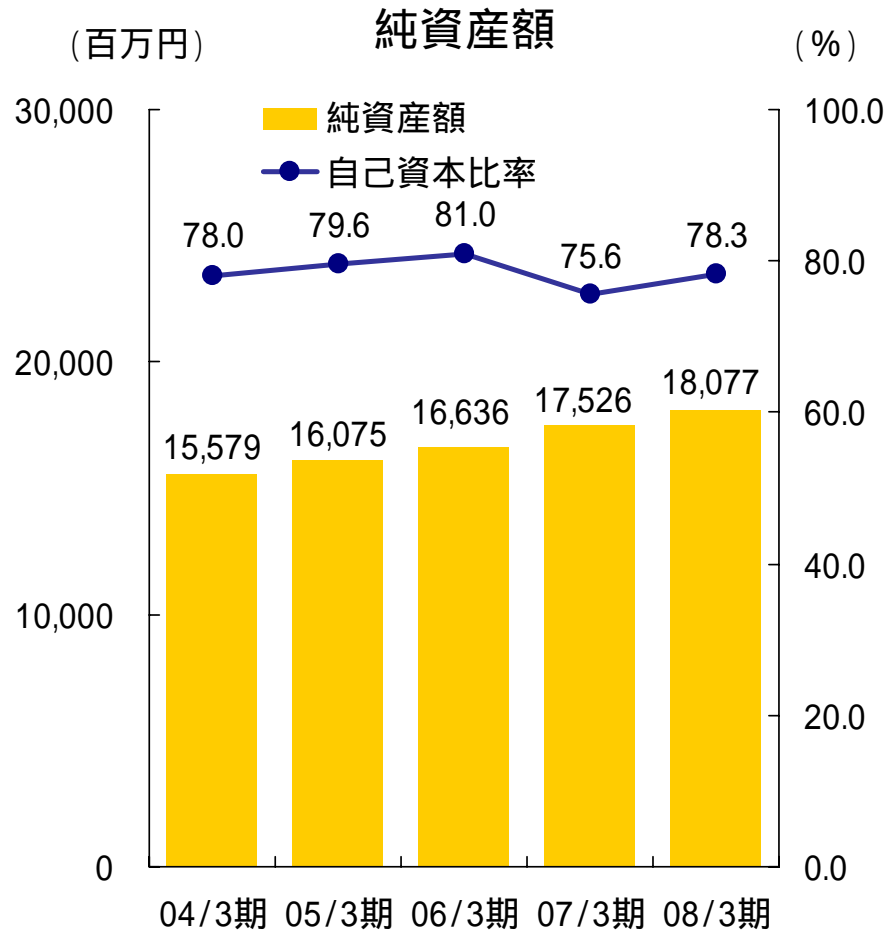
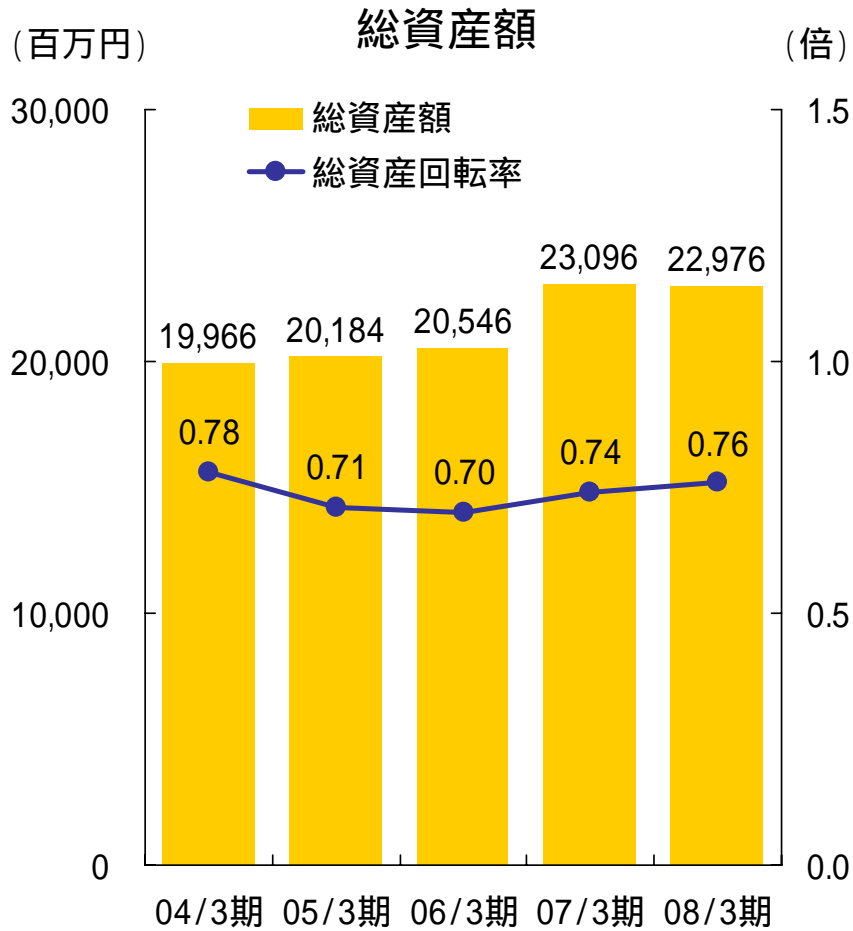
家庭用都市ガス警報器の更新需要の端境期を脱したことに加え、都市ガス用火災警報機能付商品の販売が順調に推移。また、工業用定置式ガス検知警報器、業務用携帯型ガス検知器も好調で増収増益

商品別売上高の推移(連結)

(百万円)



財務の状況(連結)



.2008年3月期決算概況

2008年3月期決算ポイント(連結)

■ 売上高:17,513百万円(前期比2.7%増)

- 家庭用ガス警報器:8,059百万円(同5.2%減)
- 工業用定置式ガス検知警報器:5,569百万円(同10.9%増)
- 業務用携帯型ガス検知器:3,608百万円(同13.3%増)
- その他:276百万円(同19.6%減)

■ 営業利益:1,613百万円(前期比3.5%増)

- 経常利益:1,680百万円(同4.0%増)
- 当期純利益:976百万円(同0.4%増)

2008年3月期決算概要(連結)

	2007年3月期		2008年3月期		増減	
	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	増減額 (百万円)	増減率 (%)
売上高	17,057	100.0	17,513	100.0	+455	+2.7
家庭用ガス警報器	8,504	49.9	8,059	46.0	445	5.2
工業用定置式ガス検知警報器	5,024	29.4	5,569	31.8	+545	+10.9
業務用携帯型ガス検知器	3,185	18.7	3,608	20.6	+423	+13.3
その他	343	2.0	276	1.6	67	19.6
売上総利益	7,190	42.2	7,502	42.8	+312	+4.3
営業利益	1,558	9.1	1,613	9.2	+55	+3.5
経常利益	1,616	9.5	1,680	9.6	+64	+4.0
当期純利益	973	5.7	976	5.6	+3	+0.4
1株当たり当期純利益	78.66円	-	78.97円	-	-	-

損益計算書の概要(連結)

	2007年3月期		2008年3月期			
	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	増減額 (百万円)	主な増減要因
売上高	17,057	100.0	17,513	100.0	+455	工業用定置式ガス警報器及び業務用携帯型ガス検知器の売上増加
売上原価	9,867	57.8	10,010	57.2	+143	
売上総利益	7,190	42.2	7,502	42.8	+312	
販管費	5,632	33.1	5,889	33.6	+257	
営業利益	1,558	9.1	1,613	9.2	+55	
経常利益	1,616	9.5	1,680	9.6	+64	
当期純利益	973	5.7	976	5.6	+3	

貸借対照表の概要(連結)

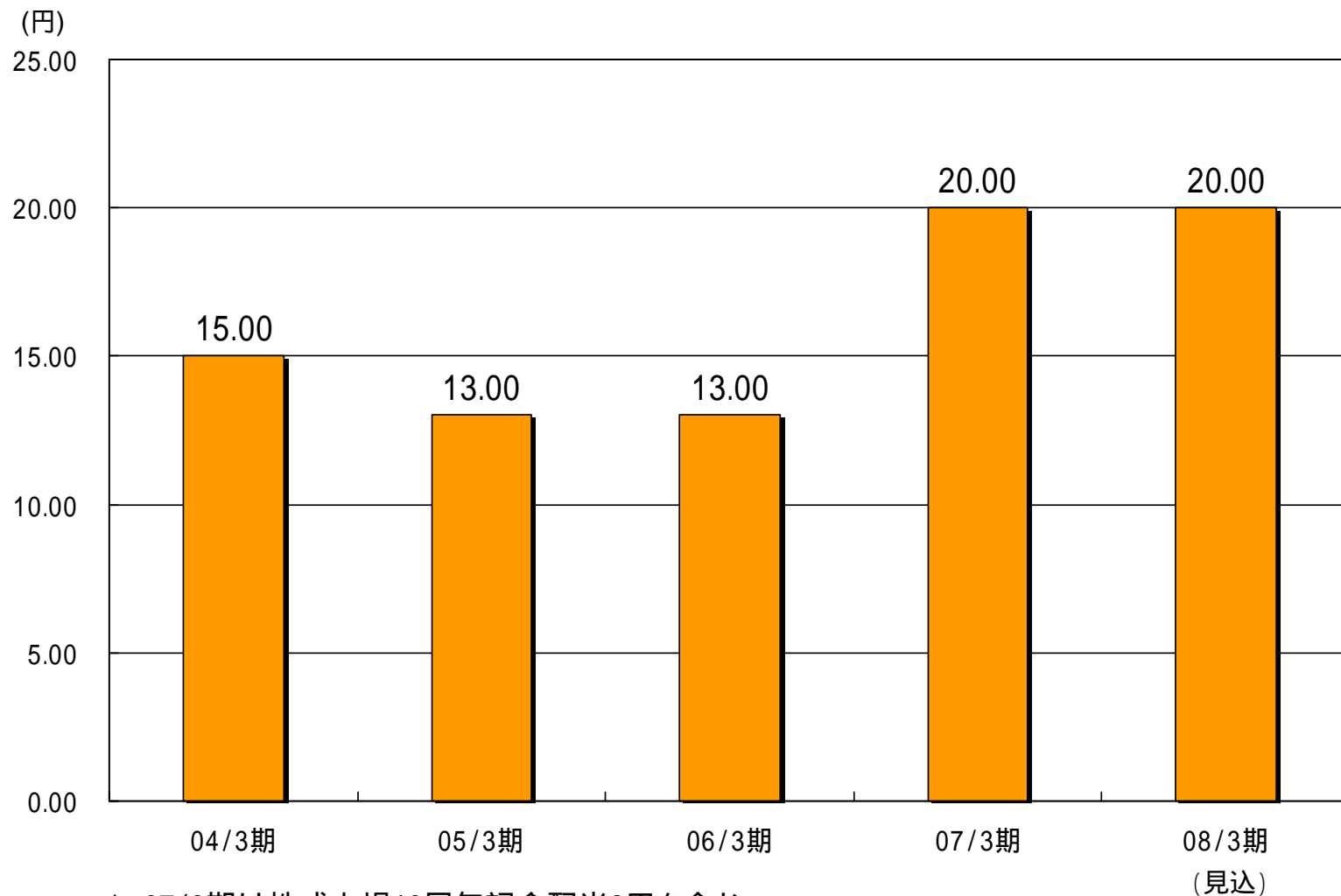
	2007年3月期		2008年3月期			
	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	増減額 (百万円)	主な増減要因
流動資産	17,076	73.9	16,976	73.9	99	現金及び預金の増加 +356 売上債権の減少 348
固定資産	6,020	26.1	6,000	26.1	20	関係会社出資金の増加 +100 有形固定資産の増加 +62 投資有価証券の減少 336
資産合計	23,096	100.0	22,976	100.0	120	
流動負債	4,683	20.3	4,019	17.4	663	支払手形及び買掛金の減少 366 未払法人税の減少 249
固定負債	886	3.8	878	3.8	7	
負債合計	5,570	24.1	4,898	21.3	671	
純資産合計	17,526	75.9	18,077	78.6	+551	利益剰余金の増加 +729
負債・純資産合計	23,096	100.0	22,976	100.0	120	

キャッシュ・フローの概要(連結)

(百万円)

	2007年3月期	2008年3月期	主な要因
営業キャッシュ・フロー	584	1,313	税金等調整前当期純利益 +1,646 減価償却費 +527 売上債権の減少 +348 法人税等の支払額 843 仕入債務の減少 366
投資キャッシュ・フロー	332	715	有形固定資産の取得 443 関係会社出資金 100
フリーキャッシュ・フロー	251	598	
財務キャッシュ・フロー	161	247	配当金の支払い 247
現金及び現金同等物の増減額	89	348	
現金及び現金同等物の期末残高	7,569	7,917	

ご参考：1株当たり配当金の推移



* 07/3期は株式上場10周年記念配当2円を含む。

.2009年3月期業績見通し

2009年3月期決算見通し(連結)

	2008年3月期(実績)		2009年3月期(計画)		増減	
	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	増減額 (百万円)	増減率 (%)
売上高	17,513	100.0	18,080	100.0	+567	+3.2
家庭用ガス警報器	8,059	46.0	8,460	46.8	+401	+5.0
工業用定置式ガス検知警報器	5,569	31.8	5,670	31.4	+101	+1.8
業務用携帯型ガス検知器	3,608	20.6	3,570	19.7	38	1.1
その他	276	1.6	380	2.1	+104	+37.7
営業利益	1,613	9.2	1,520	8.4	93	5.8
経常利益	1,680	9.6	1,575	8.7	105	6.3
当期純利益	976	5.6	920	5.1	56	5.7
1株当たり当期純利益	78.97円	-	74.37円	-	-	-

.中期経営計画について

前回中期経営計画について

スローガン

「人と技術で安全快適な環境づくりに貢献する」

競争力強化策について

1. ガスセンサの強化

市場ニーズに対応する高品質・競争力あるセンサの開発
生産インフラへの資源投入

2. 市場別事業展開

営業・サービス体制の向上
各分野でのシェア・アップ

3. 海外事業

北東アジアへの集中
海外売上高比率：10%以上

4. 新規事業

ニオイセンサへの注力
室内空気質測定への注力

前回中期経営計画(単体)について

- 2007年3月期(初年度)・・・計画達成
- 2008年3月期・・・営業利益達成、売上未達成

	2006年度計画 (2007年3月期)	2006年度実績	2007年度計画 (2008年3月期)	2007年度実績
売上高	16,500	17,332	18,400	17,774
営業利益	885	1,238	1,110	1,225

前回「中期経営計画2006 - 2008」の進捗状況

前回「中期経営計画2006 - 2008」の進捗状況と環境・市場動向を踏まえ見直し



前回中期経営計画の進捗状況

【競争力の強化】

新たな水素センサの開発 首都圏での拠点開設 中国現地法人の設立 住宅用火災警報器の伸び悩み

【体質の強化】

人事制度の定着 内部統制システムの構築 安定した配当政策の実施 生産インフラ投資のずれ込み



前回の中期計画を見直し、連結ベースの「中期経営計画2008 - 2010」へ改訂

中期経営計画2008 - 2010の概要(連結)

(単位:百万円)

	2008年度 (2009年3月期)	2009年度 (2010年3月期)	2010年度 (2011年3月期)
売上高	18,080	18,780	20,200
家庭用	8,460	8,500	9,350
工業用定置式	5,670	6,030	6,420
業務用携帯型	3,570	3,850	3,980
その他	380	400	450
営業利益 ()内は営業利益率	1,520 (8.4%)	1,560 (8.3%)	1,900 (9.4%)

中期経営計画2008 - 2010の事業戦略

■ 産業用ガス検知警報器部門

- 新エネルギー市場(水素エネルギー、燃料電池)、半導体・自動車産業への重点的な取り組み
- 温泉関連施設でのガス検知警報器需要の取り込み
- 首都圏での営業力強化

■ 家庭用ガス警報器・住宅用火災警報器部門

- 住宅用火災警報器の既存住宅への取り付けの本格化を見込む
(消防法改正により2011年5月末までに全戸設置義務化)
商品ラインナップの整備、販売ルートの確立による販売力向上

■ 新規事業

- ポータブル分析装置・・・独自の熱線型半導体式センサを使用
- 換気扇コントローラ・・・換気扇の運転を制御して、省エネに貢献
- 電気品異常早期感知システム・・・ニオイセンサを応用して、電気品の火災を早期に検知

■ 海外展開

- 2010年度海外売上高比率10%
(中国での産業用ガス検知警報器売上高10億円)を目指す
・・・中長期目標である海外売上高比率30%の足がかり

■ 設備投資計画

- 3年間で50億円

本資料における注意事項等

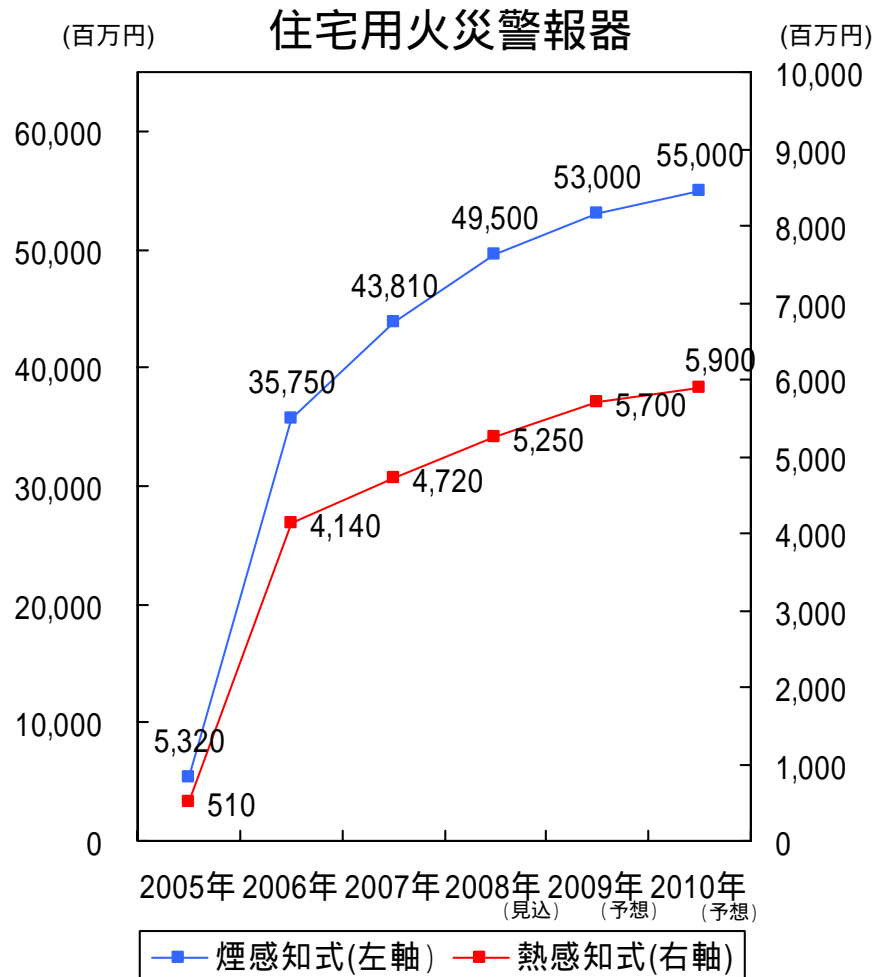
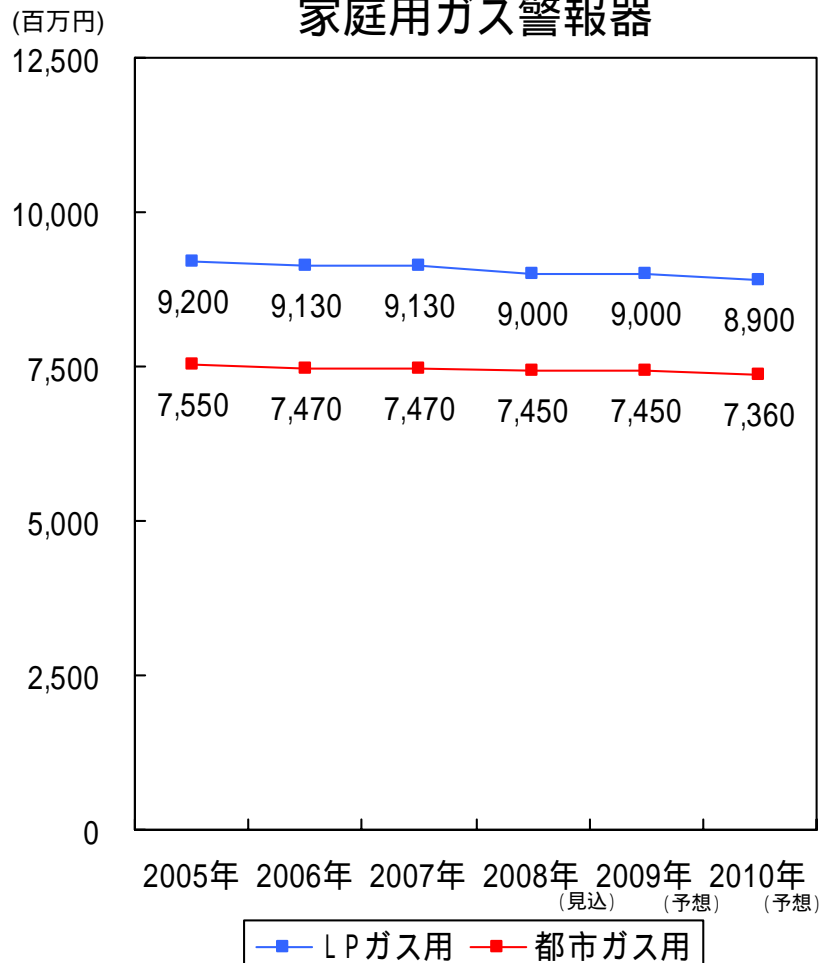
- 本資料には新コスモス電機株式会社(以下、弊社)の業績、戦略、事業計画などに関する将来的予測を示す記述および資料が記載されております。
- これらの将来的予測に関する記述および資料は過去の事実ではなく、発表時点で入手可能な情報に基づき弊社が判断した予測です。
- また経済動向、他社との競合状況などの潜在的リスクや不確実な要因も含まれています。その為、実際の業績、事業展開または財務状況は今後の経済動向、業界による競争、市場の需要、その他の経済・社会・政治情勢などの様々な要因により、記述されている将来予測とは大きく異なる結果となる可能性があることをご承知おき下さい。

【本資料及び当社IRに関するお問い合わせ先】
新コスモス電機株式会社 総務グループ
TEL 06-6308-3112
URL <http://www.new-cosmos.co.jp>

ご清聴ありがとうございました

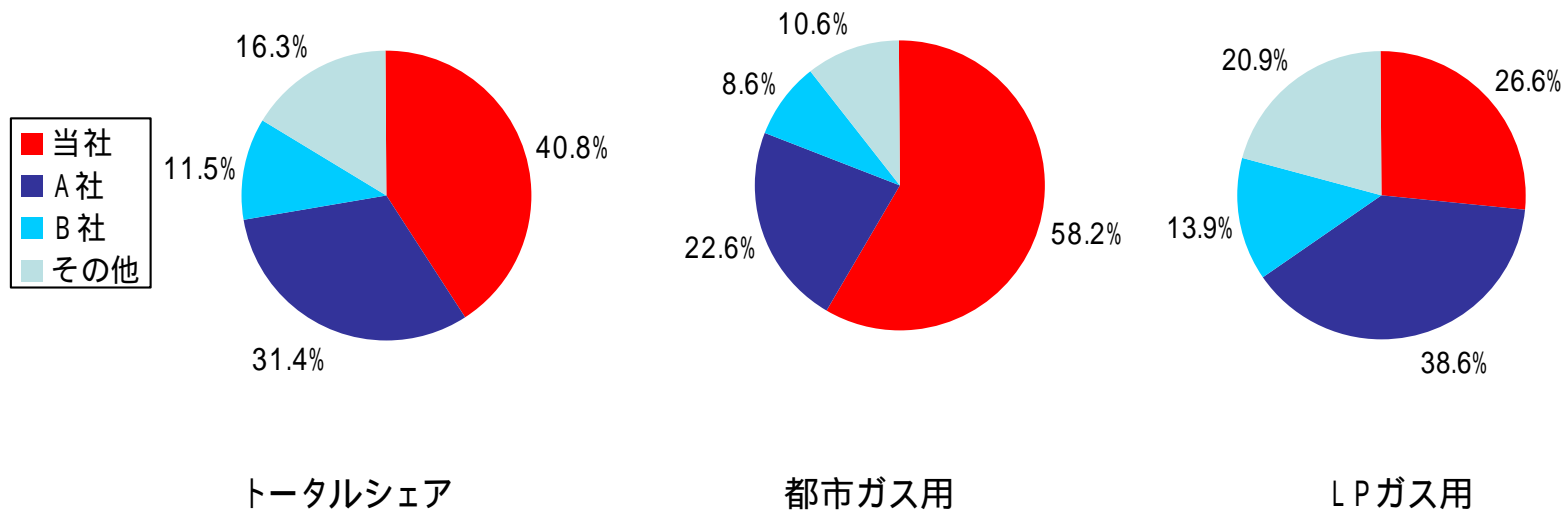
(参考資料)

市場規模推移



出典：富士経済「2007セキュリティ関連市場の将来展望」

(参考資料) 家庭用ガス警報器企業別シェア



出典: 富士経済「2007セキュリティ関連市場の将来展望」